



文化博物館だより

第500号

2017年7月16日

今回の博物館だよりは、企画展 郷土作家シリーズ「明石巡り～作品でみる明石のええところ～」関連イベントのようすと、ぶんぱくキッズキュレーターについて、次回展覧会のご案内についてお届けします。

親子のためのギャラリートーク、一般向けギャラリートークを開催しました！（2017年7月8日）



「明石巡り」展の会期末を控え、7月8日に親子のためのギャラリートーク、一般向けギャラリートークを開催しました。

明石にゆかりのある郷土作家による、明石をテーマとした作品たちがずらりと揃った本展覧会。明石に初めて来られてご覧になった方には明石の魅力をも、よくご存知の方にも明石のええところを作品を通して改めて知っていただける良い機会になったのではないのでしょうか。

作品を見ながら、どこで描かれ季節や時間帯はいつごろかなど、みなさんとわいわい会話しながらギャラリートークは進みました。

ぶんぱくキッズキュレーター、始動！！（2017年7月8日）



館長の話を聞く姿も真剣です！

この度、明石市立文化博物館では初めての取組みとなる、こども学芸員「ぶんぱくキッズキュレーター」の第1回目のミーティングを行いました。我こそは！と手を挙げてくれたのは小学3年生から中学2年生までの14名です。第1回目は自己紹介やこれからぶんぱくでチャレンジしてみたいこと、勉強したいことなどを発表してもらいました。その後館内を見学したり、明石巡り展の見どころを担当学芸員から聞くなど約1時間半でミーティングは終了。興味津々な眼差しに私たちスタッフも身の引き締まる思いでした。これからどんなことにチャレンジしていくのか！？乞うご期待！

7月22日より開催！夏季特別展「オバケ絵大博覧会」



歌川国芳「相馬の古因襲」
滝夜叉姫と大骸骨



葛飾北斎「百物語（さらやしき）」

オバケ浮世絵が、「ぶんぱく」こと明石市立文化博物館にこの夏ゾクゾク大集合。本展では葛飾北斎、歌川広重、歌川国芳などの絵師たちによる、想像力にあふれたオバケ浮世絵を約120点展示します。もしかすると、見覚えのあるオバケたちに出会えるかも。また、ぶんぱくになんとオバケ屋敷が登場します！オバケ絵でゾクゾク、オバケ屋敷でもゾクゾク。関連イベントも盛りだくさん！この夏はぶんぱくでゾクゾクしてみませんか。

会期：7月22日（土）～9月3日（日） 会期中無休
開館時間：9時30分～18時30分（入館は18時まで）
夜間開館：8月12日（土）、19日（土）、26日（土）は20時まで
（入館は19時30分まで）
観覧料：前売券 大人600円、大人ペア1,000円（7/21まで販売）
当日券 大人800円、大高生600円、中学生以下無料

詳しい展覧会情報は当館HPをご覧ください。

<http://www.akashibunpaku.com/>



おもしろい たのしい
来て、見て、発見！

ぶんぱくGO!!